



岡本 ひとし

① 教育費負担軽減にむけた ② 男女共同参画のとりくみ 施策の拡充

教育費負担軽減にむけ

問 経済格差による学力格差の現状を問う。

答 家庭の所得、保護者の学歴をはじめとする、社会経済的背景が、一定の影響を与えることが統計的に示されている。

問 格差が広がらないと、りくみと改善策を問う。

答 寄り添いながら一人ひとりを引き上げる教育の充実が重要であり、学びの支援を総合的にする必要はある。

問 令和7年度、学力学習状況調査の結果について問う。

答 学園全体における共通課題として、知識技能の定着が大きな焦点であると捉えている。

奨学金制度の現状を

問 奨学金制度の現状を問う。

答 能勢町奨学資金制度を運用しており、無利息、対応型奨学金である。柔軟に対応するため随時募集し、速やかに行き届くよう配慮している。

男女共同参画社会に向けたとりくみ

問 男女共同参画の基本認識を問う。

答 男女が互いに尊重し、持続可能な地域づくりを進める基盤であると考えている。

問 推進本部への女性の参画がない。当事者の参画を求めるが認識を問う。

答 学園全体における共通課題として、知識技能の定着が大きな焦点であると捉えている。



部長級以上の委員で

答 構成しており、女性参画が図れば良いと思う。

問 座長が町長であり、女性の参画を担保するという認識でよいか。町長の姿勢が問われていると考え、問う。

答 設置要綱等も考え、検討を進める。

一般質問



森田 則子

いのちを守るための防災体制

問 要支援者避難行動リスタの運用状況や、名簿を最新情報にするなど、今後の改善策を問う。



答 名簿は、区長・民生委員・消防団・社協・能勢町分署と共有し、地域の避難訓練に活用している。今後は「個別避難計画」の作成と啓発の支援を継続する。名簿更新も、住民課で同意を前提に、課内で連携し、名簿を随時更新することは可能である。

問 事前防災の取組みとして、家屋の耐震化推進や、家具固定具などを、

問 公民館の避難所の運用方法と、ペットの同行避難体制を問う。

答 公民館は44区中35区が開設する意向がある。今後は拡大するとともに、町との連携方法など一定のルールづくりが必要と考える。

問 事前防災の取組みとして、家屋の耐震化推進や、家具固定具などを、



支援の必要な高齢者単独世帯に補助してはどうか。

答 事前防災の取組みは、ハザードマップを活用した啓発や、地域防災訓練で職員が直接説明をしている。補助は、現在実行の段階にない。

問 女性防災リーダーの意識を高めるため、百歳体操など、身近なコミュニケーションの場で防災知識を身につけるネットワーク型防災モデルや、町内に防災士登録制度を構築して、リーダーを育ててはどうか問う。

答 ネットワーク型防災モデルは、有効な手段の一つと考える。現在、防災士は22名と聞いている。防災士登録制度については、防災士協会と一度協議したい。

ペット避難の受け入れは、